

桜広場でお花見の同窓会



4月3日の入学式の日、桜広場でお花見をしていた卒業生のグループがいた。平成8年卒業で、公認会計士受験団体「志雲会」の同期生だ。数年前から、この時期に同窓会を開いているという。皆さん中大が大好き。「中大は1年から4年まで同じキャンパスだから、タテもヨコもつながりが切れない」とメンバーの一人の新藤裕子さん。

この日のために沖縄からわざわざやってきたというのは、宮城望さん。同期生とは「卒業以来の再会」という。子供を連れて参加した人もいて、満開の桜の下で旧交をあたためていた。この後夕方からは、学生時代に行きつけだった居酒屋へ行って、今度は思い出話に花を咲かせるそうだ。
(学生記者 野崎みゆき=法学部3年)

